

十勝 清水

Tokachi Shimizu

最高のぜいたく、育てています。



2026年2月号
398号

目次

- 02. すこやかファミリー
松久さんファミリー
無料年金 Web 相談会
- 03. 豚もも肉 寄贈／なべちゃんねぎ 寄贈
- 04. 女性部 第2回研修会・第3回研修会
十勝女性部協議会 研修会
- 05. むらさき会 第2回研修会／そよかぜの会 勉強会
- 06. 国内肥料資源利用拡大アワード 受賞
- 08. 青年部 管外視察研修会・十勝大会・全道大会
- 09. 補助事業報告
- 10. 土づくり
- 12. 蔬菜講習会
- 13. 理事会の動き／人間ドック
- 14. ホクレンとの学習会／出田牧場物語



Agricultural Cooperative Association Magazine

自然と環境 人と人とのつながりを大切にしています。

 十勝清水町農業協同組合

清水町養豚振興会から 豚も肉寄贈

とき…11月18日
ところ…清水町学校給食センター

11月18日、清水町養豚振興会（青木賢一会長）は清水町学校給食センターへ、町内の学校給食向けに青木ビッグファーム（株）生産の豚も肉30kgを寄贈しました。

当日は、畜産販売課 佐藤和真職員より学校給食センター 植松勝洋主任へ手渡されました。

寄贈に立ち会った学校給食センター吉田雪江所長からは、「食材の価格が高騰する中、いつも美味しいお肉をいただいて本当に感謝しています。寄贈していただいた食材を使って作る給食は、いつも子どもたちのエネルギーとなっていますので、ありがたい限りです。」とのコメントをいただきました。

豚肉は、翌19日に『清水産豚肉とじゃがいもの揚げ煮』として子どもたちへふるまわれました。

豚肉はどのような料理に使っても相性抜群で、栄養満点な食材となっています。ぜひご家庭でもお試しください。



△清水産豚肉とじゃがいもの揚げ煮



△調理の様子



△写真左 清水町学校給食センター 植松勝洋主任
写真右 畜産販売課 佐藤和真職員

清水町蔬菜振興会から なべちゃんねぎ寄贈

とき…11月19日
ところ…清水町学校給食センター

11月19日、清水町蔬菜振興会（宮川司会長）は、清水町学校給食センターへ川島将宏氏生産のなべちゃんねぎ15kgを寄贈しました。

当日は、川島氏から清水町学校給食センター吉田雪江所長へ手渡しました。寄贈した川島氏は、「町内で採れた新鮮で美味しい野菜を、町内の子どもたちがしっかりと食べることで、大きく育ってほしいです。」と寄贈にあたっての想いを語りました。

また、学校給食センター吉田所長からは、「物価高騰のなか、いつもこのように無償提供をいただき感謝しています。今回も野菜を美味しく摂れるメニューを企画しており、子どもたちも喜びます。」とのコメントをいただきました。

翌20日には、さっそく学校給食で『肉団子と白菜の長ねぎのあんかけ』として味わってもらいました。

『なべちゃんねぎ』は、火を通して食べると甘み・とろみが出るとも美味しい食材です。見かけた際にはぜひ、一度手にとってみてください。



△肉団子と白菜と長ねぎのあんかけ



△調理の様子



△写真左 清水町蔬菜振興会 川島 将宏氏
写真右 清水町学校給食センター 吉田 雪江所長

すこやかファミリー



本村 松久 翠衣 ちゃん（2歳6ヶ月）
写真左はおにいちゃん 鼓汰くん

～お母さんからのメッセージ～

怒りん坊で甘えん坊な翠衣。
毎日にいいの真似をしつから成長していく姿を見れて幸せです♡
怒ると、大きい声で叫ぶ所は耳がキンと
なるから もう少し小さいと助かるかな

ピンクのもの、アンパンマン、ラブブが好きな翠衣ちゃん！

最近の翠衣ちゃんの家でのマイブームは、テンションが特に上がっている時にキラキラ星を歌って披露することだそうです！

子育てについて伺ったところ、「最近は伝えたいことを言葉で話すのが上手になってきましたが、やっぱり伝わらずわかってあげられないこともあり、そうなるともうイヤー！と怒ってしまうのでなかなか難しいと思います。でも何でも気になるとな～？と聞いてきたり、にいにの言葉を真似して話してたり、家で飼っている猫が好きで見つければすぐグーっと抱きしめる姿を見ると可愛いなとほっこりした気持ちになります。」と教えていただきました！

おとうさん 松久 昂稀 さん

おかあさん 郁香 さん

おにいちゃん 鼓汰 くん

無料年金Web相談会を 開催しました

とき…11月12日
ところ…JA本所 談話室

11月12日、JA本所談話室にて無料年金相談会を開催し、6名の方にご来場いただきました。

今回は、新たにWeb開催の形で実施され、社会保険労務士の富田朋樹氏を講師としてお招きし、ご来場者お一人おひとりの相談に合わせた丁寧なアドバイスをいただきました。

年金請求書の記入方法や手続きの方法、どの年金をどのタイミングで請求したら損をしないか、各年金の受給要件などの様々な相談がありました。相談者の方々に話を伺ったところ、「先生が優しく、説明がとても分かり易かった」、「対面ではないことにより、相談時に恥ずかしくなく聞けるところが良かった」などの好評を多くいただきました。

次回の年金Web相談会は、2月を予定しております。多くのお客様のご来場を心よりお待ちしております。年金相談会の詳細については、JA本所信用貯金課または、御影支所管理金融までお気軽にお問い合わせください。

《お問合せ先》

JA十勝清水町
本所 信用貯金課
TEL 0156-62-2133
御影支所 管理金融
TEL 0156-63-2321



JA女性部第2回研修会・第3回研修会・十勝女性協研修会

とき…10月20日
ところ…本所 大会議室

《第2回研修会》

JA女性部（馬場里美部長）は、10月20日に第2回ミドル層研修会『たらしこみアート体験』を行い、同会員6名が参加しました。

講師には、寺岡美里さん、星野ももかさんにお越しいただきました。

たらしこみアートとは、丸いキャンバスに絵の具をたらし込んで様々な模様を作り出し、絵の具の流動性を楽しみながら、筆を全く使わないで描くアートです。自分で作成した5色の絵の具を層を作るように入れていき、その絵の具をキャンバスに一気にたらし込みます。自分でキャンバスを動かして絵の具を広げていきます。キャンバスに広げてみると、違った色味に仕上がったりと全く想像ができないドキドキ感が、すごく楽しかったとのことでした。

最後は、「想像していたより楽しかった！」「またやりたい！」と笑顔で、充実した時間を過ごされました。



とき…12月17日
ところ…本所 大会議室

《第3回研修会》

JA女性部（馬場里美部長）は、12月17日に第3回ミドル層研修会『セルフ小腸もみ講座』を行い、同会員13名が参加しました。

講師には、ヤング式小腸もみプロフェッショナルセラピストの清水麻衣子さんを迎え、『マイコ式小腸クレンジング』を学びました。

今回は、自分でできる独自の「セルフ小腸もみ」も合わせて学ぶことができ、講師指導のもとで実際にやってみました。結構な力を要するのと、長い時間やっていると指が疲れてきてしまいましたが、皆さんとても真剣に学んでいました。

参加者は小さな事も先生に質問したり、「できるだけ毎日やってみよう」「少しでも体が変わったら嬉しいな」と帰宅後にも意欲的な様子でした。

繁忙期も落ち着いた時期で、会員同士の交流も楽しめ、リフレッシュができた有意義な時間となりました。



とき…12月9～10日
ところ…十勝幕別温泉グランヴィリオホテル

《十勝女性協研修会》

12月9日から10日の日程で、十勝幕別温泉グランヴィリオホテルでJA十勝地区女性協議会研修会が開催され、十勝の女性部員や関係者約160名が集まり、当女性部（馬場里美部長）より6名が参加しました。

1日目の最初の研修は、『子育てと仕事の両立』がテーマで、料理研究家 大橋由香氏による講演があり、毎日の料理が少しでも楽になるよう、ストウブ鍋を使った無水調理について話されました。研修が終了し、夕食をいただきながら懇親会が行われ、十勝管内の女性部員が交流を深めました。

2日目の研修は、幕別消防署札内支署の方々を迎え行われた『救命救急講習』で、心肺蘇生を全員実践し、とても貴重な講習となりました。

その後、閉会式で幕を閉じた今回の研修会。十勝管内から集まった女性部員たちは、2日間たくさん仲間の仲間や知識を得て、それぞれの市町村へ向け帰路につきました。

女性部むらさき会
第2回研修会

とき…11月11日
ところ…本所 大会議室

JA女性部むらさき会（澤口幸子会長）は11月11日に農協本所にて第2回研修会を行い、同会員14名が参加しました。

午前中は、けんざんやオアシスを使用した『生け花』・『フラワーアレンジメント』を行いました。平野真実氏を講師としてお迎えし、研修会をスタートしました。農協華道部の後藤職員にもお手伝い頂きながら、思いおもいの作品を制作しました。

「この花はどの長さで生けたら良いでしょうか」と積極的に質問をするなど、真剣にお花と向き合う姿が見られました。

午後は、『ペットボトルボウリング』を行いました。各チームで様々な投法を編み出して高得点を狙う様子が見られました。

次に、『ペットボトル輪投げ』を行いました。ピンに上手く輪が通らず苦戦する様子も見られましたが、「こうやって投げた方がいいよ」と声を掛け合っていました。午後の企画ではどのチームも勝ちを譲らぬ互角の戦いとなりました。

午後の各種目を終えると、拍手で互いの健闘を讃え合って研修会を締め括りました。「すごく楽しかったね」と会話をしながら、『お花』と『ペットボトルボウリング』『ペットボトル輪投げ』で心も身体もリフレッシュしていました。

JAそよかぜの会
出前講座勉強会

とき…11月27日
ところ…本所 大会議室

11月27日、JAそよかぜの会（光井隆子会長）は、帯広厚生病院の健診センター保健師 宮本由佳氏を講師に迎え、『100年時代を見据え、健康寿命を延ばそう！』と題して勉強会を開催し、同会員11名が参加しました。

前半は、人生を楽しむ過ごす妨げとなる『フレイル』について学習しました。健康な状態と要介護状態の中間にあるフレイル状態をそのままにしておくと、要介護状態へ進行するリスクがあります。参加者は普段の生活を振り返り、身体弱るサインをチェックしました。

後半は、今日からできる予防法として運動と食事について学習しました。

90分の講義はあっという間に終了し、質疑応答へと移りました。参加者は、「運動量の目安はどれくらいか」「薬の服用の際に食事で気を付けることはあるか」など積極的に質問されました。

講義終了後は、お弁当を食べながら勉強会で学んだことを振り返り、参加者同士で意見交換するなど有意義な勉強会となりました。





堆肥ペレット「しみず有機」と「とれたんと」の取組について が農林水産省 畜産局長賞を受賞しました



表彰概要

海外からの輸入原料に依存した肥料から、堆肥や下水汚泥資源等の国内資源を活用した肥料へ積極的な転換を図る取組や地域で効率的に資源循環を推進する取組を通して顕著な実績を挙げている肥料原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者、それらの事業者間の連携を支援している団体（以下、事業者間連携支援者）を広く表彰し、国内資源肥料の全国普及、生産性の向上を推進することを目的としているものです。

農林水産省畜産局長賞

十勝清水町農業協同組合
堆肥ペレット「しみず有機」と「とれたんと」の取組について

一般社団法人 日本有機資源協会の概要

「豊かな大地、永遠の地球」を次世代に引き継ぐことを使命とし、産業界・学界・国・地方自治体・市民の皆さまとの連携のもと、バイオマスの有効活用による、持続可能な循環型社会の構築、地域活性化、環境保全、新産業創出に全力で取り組みます。

沿革
。平成12年8月1日
日本有機資源協会発足
。平成14年3月29日
社団法人日本有機資源協会設立
。平成24年4月1日
一般社団法人日本有機資源協会に移行



地域資源を生かし、未来につながる農業へ

「JA十勝清水町の「しみず有機」と「とれたんと」の挑戦

北海道・十勝平野の西端、日高山脈の麓に広がる清水町。清らかな水と豊かな大地に恵まれたこの町では、農業を基幹産業として、畑作や酪農が盛んに行われています。

JA十勝清水町では、こうした地域の特性を生かし、「地域資源を地域で循環させる農業」を目指した取り組みを進めてきました。その中心にあるのが、堆肥ペレット「しみず有機」と、農産物ブランド「とれたんと」です。

家畜ふん尿を「資源」に変える「しみず有機」

「しみず有機」は、清水町内の酪農家や養鶏農家から出る牛糞・鶏糞を主原料に、木質チップを加えて丁寧に腐熟・造粒した堆肥ペレットです。化学肥料の価格高騰や資源枯渇への懸念が高まる中、JA十勝清水町は「処理すべきもの」とされがちな家畜排泄物を、貴重な地域資源として有効活用する道を選びました。

長期間の腐熟化により、臭いが少なく、雑草種子や病原菌の心配がありません。さらに、ペレット状にすることで散布しやすく、既存の農機で使える点も大きな特長です。JA十勝清水町では、JA十勝清水町管内から大規模農業まで幅広く利用されています。

科学的裏付けと現場目線で、信頼される肥料へ

「しみず有機」は、帯広畜産大学や農研機構との共同研究により、肥料としての効果や堆肥としての安全性を科学的に検証してきました。

その結果、土づくりに役立つ、作物の生育が安定する傾向が確認され、利用方法や化学肥料との併用提案など、実践的な情報を農業者に提供しています。

また、JAが散布作業を請け負う「コントラ散布」を導入したことで、労力面の課題も解消。畑作農家だけでなく、牧草地を持つ酪農家にも利用が広がり、現在では年間約800トンが安定的に出荷されています。

「元氣な土から、元氣な作物を」ブランド「とれたんと」

「しみず有機」を活用した農業の取り組みを、消費者にも分かりやすく伝えるために生まれたのが、農産物ブランド「とれたんと」です。

「とれたんと」と「たくさん（たんと）」を組み合わせたこの名前には、豊かな土で育った農産物をたっぷり味わってほしいという思いが込められています。

にんにくやアスパラガス、小豆、馬鈴薯など、十勝を代表する作物で展開され、環境に配慮した循環型農業の価値を「見える化」するブランドとして、付加価値販売に取り組んでいます。

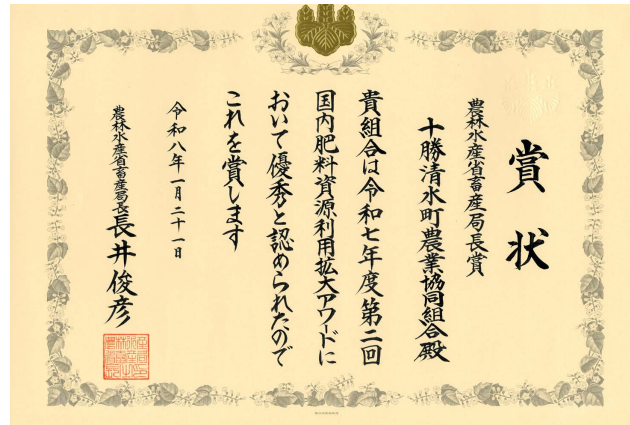
地域とともに、未来へ

一方で、施設や機械の老朽化、維持費の高騰といった課題も抱えています。それでもJA十勝清水町は、地域の農業を次世代につなぐため、「しみず有機」と「とれたんと」の取り組みを続けています。

清水町の自然と農業、そして生産者の想いが詰まった「とれたんと」。

そのロゴを見かけた際には、ぜひ手に取って、地域資源循環型農業の味わいを感じてみてください。

十勝清水



当JAでは、様々な農業関係者との意見交換を実施し、これから求められる農業、持続的な農業を目指すために推進されている様々な事例のご紹介、そして、組合員皆様方の今後の農業経営を考える上で、より農業所得が向上し従事関係者の所得向上へとつながるきっかけづくりの場として情報提供致します。

スマート農業とTAFシステムの活用で限られた労働力で効率化と農業所得向上を実現

近年、農業分野では高齢化や若手就農者の減少により、深刻な労働力不足が課題となっています。このような状況の中、限られた人員で効率よく農作業を行い、安定した収量と品質を確保し、農業所得を向上させるためには、農業経営の効率化が不可欠です。

そこで私たちは、最先端のIT技術を活用した「スマート農業」の推進により、地域農業の発展と生産者の負担軽減、そして農業所得の向上を目指しています。

特に、TAFシステム（Total Agricultural Field system）の導入は大きな効果を上げています。例えば、TAFシステムを活用することで、圃場ごとの生育状況や気象データ、作業履歴などをリアルタイムで一元管理できるようになりました。これにより、最適な作業時期や施肥量の判断が可能となり、無駄のない効率的な農作業が実現しています。

また、TAFシステムとドローンやAI搭載自動運転トラクターを組み合わせることで、圃場の空撮や生育モニタリング、耕うん・播種・収穫作業の自動化が進み、従来は多くの人手と時間が必要だった作業を大幅に効率化。作業者の負担軽減と作業精度の向上に加え、収量や品質の安定化、そして農業所得の増加にもつながっています。今後も、TAFシステムをはじめとした最新技術の活用を積極的に進め、地域農業の持続的な発展と生産者の所得向上を目指してまいります。

TAFシステムの活用による農業所得向上への取り組み

当組織では、農業現場の効率化と生産者の所得向上を目指し、TAFシステム（Total Agricultural Field system）を積極的に導入しています。

TAFシステムは、圃場ごとの生育状況や気象データ、作業履歴などを一元管理できるため、最適な作業計画や資材投入が可能となります。

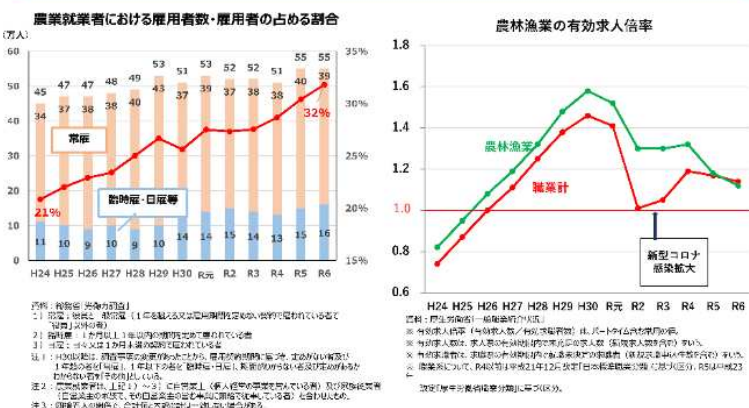
このシステムの活用により、無駄のない効率的な農作業が実現し、作業時間やコストの削減、収量や品質の安定化につながっています。結果として、農業経営の効率化とともに、生産者の所得向上にも大きく貢献しています。今後もTAFシステムをはじめとした先進技術の導入を進め、持続可能な農業と地域の発展を目指してまいります。



(R07.04 農林水産省資料「目指そう！ウェルビーイング」(抜粋))

現状② 農業における労働力不足の状況

- 雇用型経営の規模拡大等が進む中、農業就業における雇用者数及び雇用者の占める割合は増加傾向にあります。
- しかしながら、雇用者が増加してもなお人手不足の状況が続いており、更なる労働力の確保が必要となっています。



2026.01.27 北海道農政部農業経営課 働き方改革セミナー受講 当農協組合員周知資料

てんびん座
(9/23～10/23)

【全体運】 好調運。困り事は少しそのままに。状況が好転する兆しです。目標は大きく、心意気を示すと協力者が集まります
【健康運】 ダンスやラジオ体操などの全身運動がお勧め 【幸運の食べ物】 ホウレンソウ

JA青年部管外視察研修会・十勝大会・全道大会

とき…11月20～21日
ところ…長沼・札幌方面

《管外視察研修会》

11月20日、21日の両日に渡って、JA青年部（笹原恵介部長）は、長沼・札幌方面への管外視察研修会を開催しました。

本研修会では、1日目には雪印種苗(株)北海道研究農場、2日目にはサッポロファクトリーにて視察を行いました。

雪印種苗(株)の視察研修では、農産・畜産部門の2つの内容を学び、農産部門では緑肥栽培の考えかた・小麦後作に向いている緑肥の紹介が、畜産部門では嗜好性・栄養価・越冬性などが優れた草種について紹介され、実際の種の子の見学では興味深く見学していました。

また、サッポロファクトリーでの視察研修では、道内各地の食品を視察しました。



《十勝大会》

とき…11月25日
ところ…ホテル日航ノースランド帯広

11月25日、第50回JA十勝青年部大会が開催され、当JA青年部（笹原恵介部長）からは7名が参加しました。

今年度で第50回を迎えた十勝大会では、JA青年の主張・レバンガ北海道代表取締役社長折茂武彦氏による基調講演、動画で発信！農の魅力コンテスト・十勝地区農協青年部協議会事業報告など様々なイベントが盛りだくさんになっていました。

懇親会では、アームレスリング大会・十勝地区純農boyコンテストが開催され、それぞれ大応援が飛び交うなど大いに盛り上がりを見せ、第50回の節目に相応しい大会となり、大盛況のうちに幕を閉じました。



《全道大会》

とき…12月4～5日
ところ…札幌パークホテル

12月4日、5日の両日に渡って、第74回全道JA青年部大会が行なわれ、当JA青年部（笹原恵介部長）からは7名が参加しました。

1日目には青年の主張大会・青年部活動実績発表大会が行われ、それぞれ「仲間や、田んぼアート」をテーマにした発表がされており、部員たちは今後の青年部活動の参考にしようと真剣に聞き入っていました。

2日目は、『ギャル式ブレスト×農業』と題し、合同会社CGOドットコム代表総長バブリー（竹野理香子）氏による基調講演が行われました。『自分軸』『直感性』『ポジティブ思考』に基づく『ギャルマインド』を活かし、参加者たちは青年部活動の課題解決に向けたアイデアを出し合うなど、有意義な大会となりました。



おとめ座
(8/23～9/22)

【全体運】 コツコツと頑張れば成果が上がります。後半に向けてスピードを上げていって。書類の整理など細かい作業が吉
【健康運】 腸活を心がけて。納豆やぬか漬けて元気回復 【幸運の食べ物】 ブロッコリー

これらの資材からもケイ素が供給され、コムギが吸収できていると思われます。

実際、コムギ地上部によるケイ素吸収量の平均値が少なかった低地でも、ケイ素吸収量が10アール当たり20 kgを超えている圃場もあれば、中位段丘や高位段丘でもケイ素吸収量が10 kgを下回る圃場もあります。土壌からの供給だけではなく、堆肥や消化液などの地域の資源を活用することが大事なようです。せっかくの地域資源があるので、無駄にケイ素肥料などを入れる必要はありません。それでも施肥したい方は、鉄鋼業の副産物である「製鋼スラグ」に由来する肥料を入れると良いかもしれません。ケイ素はもちろん、リン、カルシウム、マグネシウムなども補給できる可能性があります。リン酸肥料の減肥や製鋼スラグの施用などについては、今年度から十勝清水町の生産者圃場での試験を開始しています。成果が得られたら、このコラムでも紹介していきますので、皆様のご協力をお願いします。

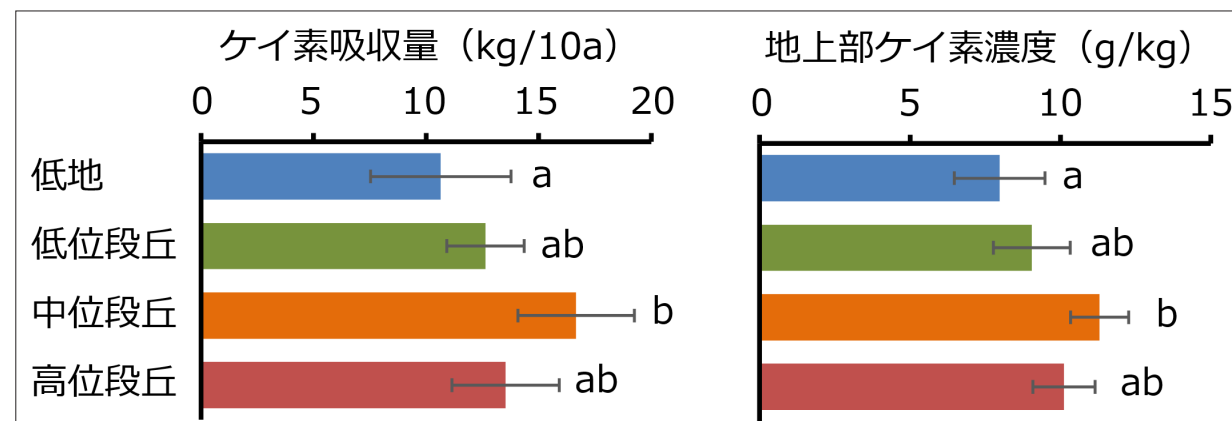


図2 コムギ圃場40地点における地形区分毎のコムギ地上部によるケイ素吸収量と地上部のケイ素濃度

コムギの部位ごとにケイ素吸収量が異なる

コムギ地上部の部位、先ほど説明した葉や茎などの稈、禾や穎などの穎殻、そして子実のケイ素吸収量を比べてみました(図3)。一番多いのは、稈で10アール当たり8.3 kgと全吸収量の60%以上を占めます。意外と吸収量が多かったのは、禾や穎などの穎殻の4.3 kgです。ケイ素濃度で比べると、穎殻が2.8%と最も高く、子実にはほとんど含まれていません。

今回のシリーズ最初のコラムでも紹介したように、イネ科作物は、ケイ素を十分に吸収できると葉の構造が強くなり、葉が上に向きやすくなるので太陽光の受光率が上がり、光合成の能力が高まります。また、病虫害などの生物的ストレスや高温・干ばつなどの非生物的ストレスのある条件下では、ケイ素を吸収した作物ではストレスが大幅に軽減されます。穎殻のケイ素濃度の高さが、病害や穂発芽などのストレス緩和に効

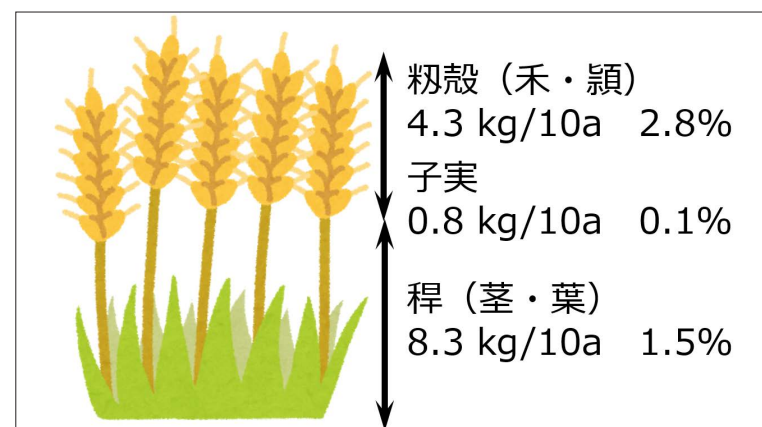


図3 コムギの部位ごと(稈・穎殻・子実)の面積当たりのケイ素吸収量とケイ素濃度

十勝清水



窒素やカリウムなみにケイ素を吸収

前回のコラムでも紹介したように、土壌から可給態ケイ素が供給されて、コムギはケイ素を吸収しています。十勝清水町の秋コムギについて、コムギ栽培圃場40地点におけるコムギ地上部による養分吸収量を調べてみました(図1)。コムギ地上部とは、葉や茎などの稈(かんてい)の(げ)や穎(えい)などの穎殻、そして子実を合わせたすべての部位のことです。

コムギ地上部による窒素吸収量は10アール当たり約19 kg、カリウム吸収量は約20 kgであり、かなりの養分を吸収しています。土壌から供給された可給態養分と、施肥により供給された養分が吸収された結果を示しています。一方、リン吸収量は10アール当たり約2.6 kgであり、他の養分と比べるとかなり少ないことが分かります。土壌の有効態リンによりリンが十分に吸収できているとすれば、リン施肥はほぼ必要ないということになるかもしれません。

そして注目のケイ素吸収量については、10アール当たり約13 kgであ

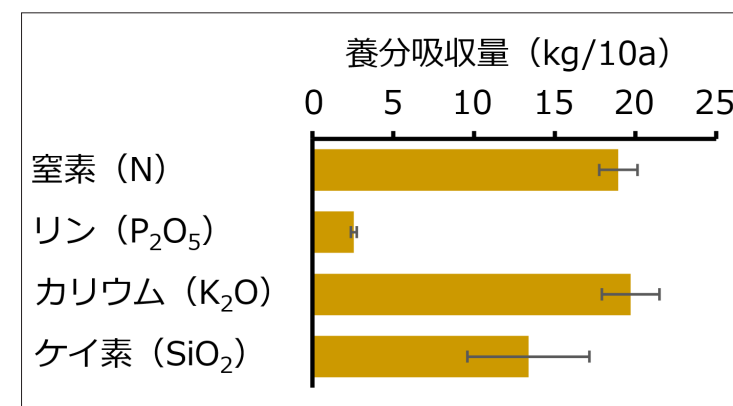


図1 コムギ圃場40地点におけるコムギ地上部による養分(窒素、リン、カリウム、ケイ素)の吸収量

地形区分ごとにケイ素吸収量が異なる

コムギ圃場40地点におけるコムギ地上部によるケイ素吸収量を低地、低位段丘、中位段丘、高位段丘の地形区分で比べてみました(図2)。中位段丘上の圃場で栽培されたコムギによるケイ素吸収量は10アール当たり約17 kgと最も多く、次いで高位段丘の圃場で14 kg、低位段丘の圃場で13 kgであり、低地の圃場で11 kgと最も少ない結果でした。コムギ地上部に含まれるケイ素濃度もほぼ同じ結果です。

前回のコラムで紹介した、土壌から酢酸緩衝液で抽出される可給態ケイ素は、高位段丘と中位段丘の圃場で高く、低位段丘や低地で低い傾向にあったことを考慮すると、中位段丘や高位段丘の圃場で栽培されたコムギ地上部によるケイ素吸収量が多いことに一致します。ただ、コムギが吸収するケイ素は、ケイ素をたくさん含むイネ科牧草を食べた乳牛から出たふん尿から作られた堆肥や消化液からも供給されています。これらの資材を積極的に活用している圃場では、土壌からだけではなく、こ

いているのかも想像していますが、これは研究や実証がまだまだ必要です。

今回のコラムでは、コムギとケイ素シリーズの最終回(第5回)として、土壌の可給態ケイ素とコムギのケイ素吸収との関係を紹介します。

十勝清水町

蔬菜講習会

とき…1月21日
ところ…JA本所 大会議室

1月21日、JA本所大会議室にて、清水町蔬菜振興会主催で十勝清水町蔬菜講習会が開催されました。
本講習会は、清水町の蔬菜生産振興と紹介を目的に行われています。
にんにく、アスパラ、ブロッコリー、白菜など品目別の講習内容となっており、最後には現在試験中の新品目についても教えていただきました。
それぞれ講師にはJA農産部 石井審査役、十勝農業改良普及センター十勝西部支所 太田普及員をお招きし、詳しくご説明いただきました。
清水町蔬菜振興会（宮川司会長）は、「清水町の品目ごとの作付面積増加を目指して、今回の講習会を開催しました。1日を通して研修会を見ていただくと、たくさんの方にご参加いただけていることが分かったので、次年度以降もこのような活動に積極的に取り組んでいきたいと思っています。」と力強く話していました。



△アスパラ講習の様子



△にんにく講習の様子



△白菜講習の様子



△ブロッコリー講習の様子



△真剣な眼差しの受講者



△新品目講習の様子



△十勝農業改良普及センター十勝西部支所 太田普及員



△JA農産部 石井 審査役

理事会の動き

第10回 1月27日開催

○付議事項

- 令和7年度 第3四半期決算
- 清水町農業委員会委員候補者の推薦
- 令和8年度本所事務所窓ガラス、枠改修に係る予算承認及び施工業者指名承認
- 定年退職者再雇用規定の改正
- 令和8年度 理事の報酬（案）
- 出資金の一部譲渡

○協議事項

- 条例検査指摘事項通知の報告及び今後の対応
- 農協経営における女性参画

○報告事項

- 会計監査人の再任及び報酬額に関する同意
- 令和7年度 内部監査実施報告書
- 組合員の加入及び脱退
- 組合と理事との利益相反取引に関する実績報告書
- 令和7年度 第3四半期 余剰金の運用状況
- 令和7年度 第3四半期 コンプライアンス事故報告
- 令和7年度 第3四半期 反社会的勢力排除対応 管理先対応状況
- 令和7年度 第3四半期 JAバンク、JA共済苦情対応状況
- マネロン対策に係る取組状況報告
- 令和7年度 にんにく共計販売状況
- 令和7年度 食用、加工馬鈴薯共計販売状況
- 畑作青果対策委員会の報告
- 生乳出荷、乳質状況
- 令和7年度（株）十勝フードサービス第3四半期決算
- （株）清水町農業サポーターセンター第3四半期決算

十勝
清水

人間ドックによる健康診断のご案内

健診センター開錠 7:45 ~
※ 開院時間 7:30
(7:30 前に病院に入ることはできません)
人間ドック予約票に記載された時間帯にお越しください。
※ 時間帯のご希望は受け付けておりません。ご了承・ご理解願います。

S・Aグループ：7:45~7:55
※ 脳ドック・肺ドックをお申し込みの方をはじめにご案内させていただきます。
Cグループ：8:00 ~ 8:15
Dグループ：8:30 ~ 8:45
Eグループ：9:00 ~ 9:15
Fグループ：9:30 ~ 9:45

人間ドック1日の流れ

- 更衣
- 問診・各種検査
- オプション検査
※一部のオプション検査は午後になります
- 診察（聴診）
- 会計
- お食事
- 結果説明
医師より検診結果の説明があります
- 保健指導
保健師・看護師より検診結果をお伝えします。生活習慣病やそのほかの病気、身体のことなどで気になることなどお気軽に相談ください。
申し込みの契約かつ条件に該当した方
特定保健指導
健康診断をもとに3~6か月間の生活習慣改善プログラムを無料で受けられます
- ご帰宅
※一部の検査、オプション結果は後日郵送します

十勝
清水

当JAでは、組合員の健康管理意識の高揚と健康で明るい家庭を築くため、ドックによる総合健康診断を推進しており、年1回の受診をおすすめしています。

予約の2週間前頃に帯広厚生病院から必要書類が郵送されますので、詳細は内容をご確認ください。
なお、受診日変更や新規申し込みについては、

いは、随時受付しています。
ご質問・不明な点につきましては、管理課（電話 6212161）までお問合せください。

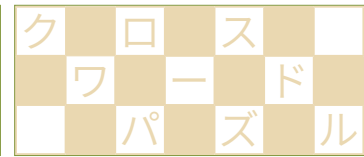
謹んでご冥福をお祈りいたします。

御影支所 経済

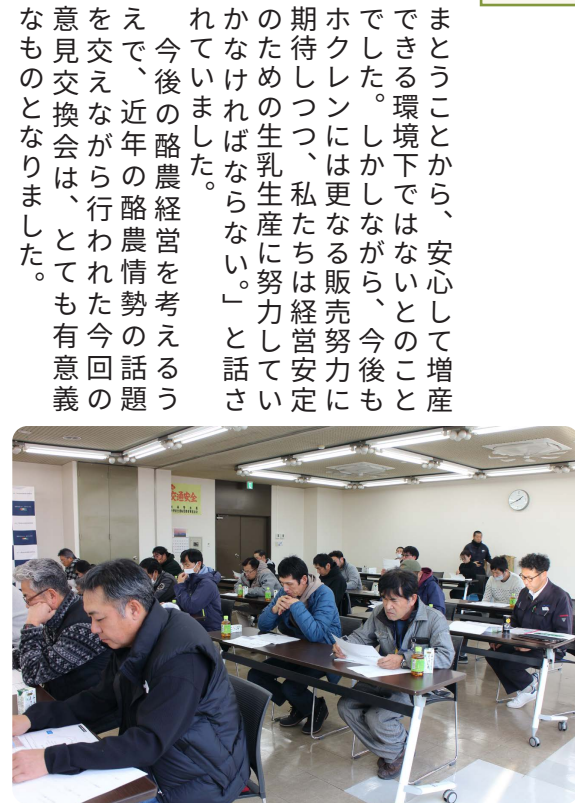
安田 英樹 殿（63歳）

1月17日にご逝去されました。生前は組合員の皆様に温かいご指導とご厚情を賜りましたこと、故人に代わり厚く御礼申し上げます。

故人のこれまでの功績を偲ぶとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



△開会挨拶を行う大槻委員長



J A十勝清水町 畜産部・清水町農民連盟・ ホクレン帯広支所酪農課との意見交換会

とき.. 11月17日
ところ.. J A本所 大会議室

11月17日、清水町農民連盟主催で、J A十勝清水町 畜産部とホクレン帯広支所酪農課との意見交換会が行われました。

初めに、乳代精算方法について説明があり、特に生乳共販経費についてや乳代清算書の記載内容、残余金の返戻などについて詳しくご説明いただきました。

次に、生乳需給を取り巻く動向などについても触れられ、直近の需要動向（家庭用）や、乳製品価格などの情報提供があり、その後活発な意見交換が行なわれました。

終了後、大槻委員長は「今後の生乳生産の見通しでは、令和8年度も増産目標となつてはいますが、需給バランスからは脱脂粉乳の在庫積み増しの問題が常に付き

まとうことから、安心して増産できる環境下ではないとのことでした。しかしながら、今後ホクレンには更なる販売努力に期待しつつ、私たちは経営安定のための生乳生産に努力していかなければならない。」と話されていました。

今後の酪農経営を考えるうえで、近年の酪農情勢の話題を交えながら行われた今回の意見交換会は、とても有意義なものとなりました。

クイズの答えを解答用紙に記入し、F A X送信するか直接J Aにご持参ください。正解者の中から抽選で5名の方に記念品を差し上げます。ご応募お待ちしております。（締切 2月18日）

合併号 (No.397) の答え
A B C D E
「サンガニチ」

1	ゾ	ウ	9	ニ	14	ム	18	カ	21	デ
		7	ド	ク	ハ		11	サ	19	ン
2	ア	ン		12	ミ	15	オ	ク		リ
	ワ		10	ウ	ガ		イ			ユ
3	ダ	8	テ	マ	キ		20	コ		ウ
4	テ	ン		13	コ	16	ブ	タ		
5	キ	キ	テ		17	チ	エ	ア		

→ ヨコのカギ

- 1 節分にまるかぶりします
- 2 働き者のイメージがある昆虫
- 3 羽根つきに使う道具
- 4 保育園の——に手編みの帽子を出品した
- 5 張り上げたりひそめたり
- 6 強い風に雪が舞います
- 7 作業機をけん引してさまざまな農作業をこなします
- 8 金太郎が担いでいるもの
- 9 ドアをコン、コン
- 10 魚へんに付と書く魚
- 11 寒いところやすくなる人もいます

↓ タテのカギ

- 2 東京にある、昔は電気街、今はポップカルチャーの街
- 5 はたきで払うもの
- 7 い草などで編んだ敷物
- 8 天井や空がある方向
- 9 長さの単位のひとつ。記号はft
- 11 眠くなると下がってきます
- 12 外湯めぐりで知られる兵庫県北部の温泉地
- 14 鬼は外、——は内
- 15 日本刀の手で握る部分
- 16 すべては忘却の——だ
- 17 チョコレートケーキの——をスマホで調べた

表紙の写真は



今月の表紙は佐幌川沿いの朝の牧草地の風景です。

氷点下20度ほどの冷気で川の水面上から立ち上る水蒸気が半透明の氷になって防風林の枝に張り付いて霧氷となっていました。

まだまだ寒い日が続きますが、ご自愛いただき体調管理を万全にお過ごしください。

合併号 (No. 397) あたまの体操 当選者発表

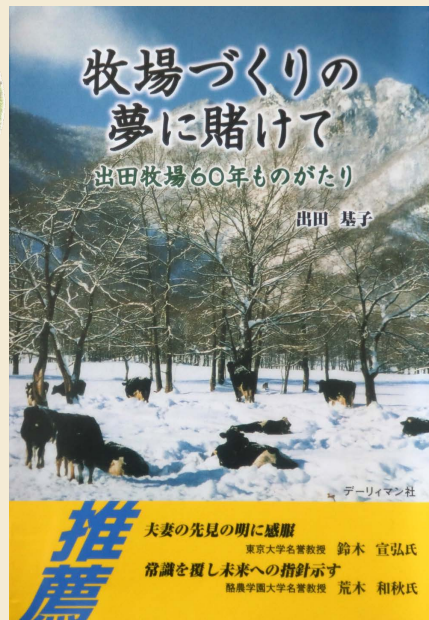
当選者は	石山	村上	泰公さん	下佐幌3	白石	淑子さん
	人舞5	大口	欣也さん	人舞5	阿部	いづみさん
	東郷愛	石原	芽依さん			の5名です。

おめでとうございます。 十勝清水



出田 基子

出田 基子



【「デイリーマン社ホームページ 商品説明より」】

著者の出田（いでた）基子さんは、夫の義國（よしくに）さんとともに、北海道十勝管内清水町に1977年新規就農。条件不利地で、厳寒地ながら無牛舎で冬季も放牧を続ける完全放牧酪農を貫き、酪農情勢が厳しい中でも黒字経営を実現している。

本書は、新聞や文芸誌、酪農専門誌などに著者が執筆した作品をベースに再構成。夫婦が出会って共に酪農家を志し、府県や北海道での牧夫時代を経て清水町に新規就農し経営を軌道に乗せるまでの道のりのほか、子どもたちのこと、国政選挙への出馬経験、食料生産や農業への思いなどがつづられている。

このたび、当J A組合員の出田 基子さん著による『牧場づくりの夢に賭けて 出田牧場60年ものがたり』がデイリーマン社から出版されましたので、ご紹介いたします。



今月の「職員紹介」



なすかわ まゆ 職員
名須川 真夕 職員

最近の出来事

スノーボードをはじめました

◆所属部署・担当業務

管理部 管理課
経理担当

◆趣味

バレーボール

◆自分はこんな人です

負けず嫌い

◆上司からの一言（吉田 賢史 課長 より）

令和6年4月に入組し、現在は経理業務や人間ドック等の健康管理推進事業も担当しております。

まだ2年目とは思えない落ち着いた仕事ぶりは、非常に頼もしく感じております。

まだまだ分からない事もあるかと思いますが、先輩方にアドバイスをもらいながら今後の成長に繋げていただければと思います。

また、2月は次年度の人間ドックのとりまとめがあり、組合員の皆様とのやり取りも増えるかと思ひます。日程調整等スムーズに行う事ができるよう頑張りましょう。

来月の「職員紹介」は小室 理穂 職員です。

十勝
清水

今月のメニュー

JA女性部 料理研究会

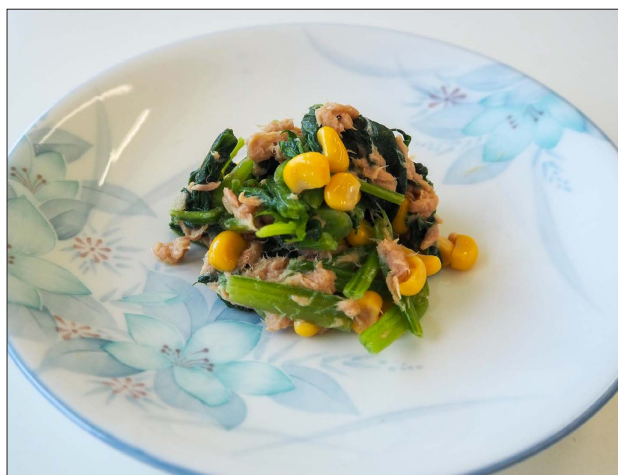
ほうれん草のツナコーン和え

材料（4人分）

ほうれん草	160g
コーン缶	20g
ツナ缶	1缶（70g）
ごま油	小さじ1（4g）
しょうゆ	小さじ1弱（4g）

作り方

- ①ほうれん草は、ゆでて2～3cmの長さに切っておく。
- ②具材と調味料を全て合わせてできあがり。



6月26日にJA女性部 料理研究会が、料理研究会実習を開催しました。

「今月のメニュー」として今回を含め5回、活動で作った料理の調理メニューを紹介致します（3/5回目）。

栄養価（1人分）

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食物繊維	食塩相当量
33kcal	3.1 g	1.2 g	1.6 g	1.3 g	0.3 g